

世界デビュー！ 第二のヌマタネズミルカ

新しい研究成果

ヌマタネズミルカの発見から30年、いままでその一頭しか見つかっていませんでした。

もう、ゆめくくで開催されていた特別展でご覧になっていた方も多と思います。が、第二、第三のヌマタネズミルカが見つかり研究が進んでいます。

第二のヌマタネズミルカの研究は2015年4月から始まりました。研究の成果は英文でまとめられ、「査読」という審査を無事通過し、日本古生物学会の学術誌、Paleontological Researchから出版されることが、2015年9月14日に決定されました。この第二のヌマタネズミルカは2016年に正式に世界デビューします。

この成果の意義は学術界に沼田の化石標本が重要であることが認められたところにあります。研究成果はこのたより裏面、化石館の展示や新聞報道等でお伝えします。お楽しみに！

10月10日(土)から化石体験館(幌新)で展示します



ヌマタネズミルカ復元画 新村隆也学芸員(足寄動物化石博物館)作



↑第一(左)と第二(右)のヌマタネズミルカの耳の骨 詳しくは裏面で！

幌新太刀別川・雨竜川で発見された化石の個数と種数は多い。その中の一つ、イルカの全身骨格は世界で初のヌマタネズミルカとして一島・木村が世界に向けて2000年に発表した。発見者の山下茂教諭に献名としてヌマタネズミルカ ヤマシタイ(Numataphocoena yamashitai)と命名した。今年の4月以降、標本を再点検した田中新学芸員は、第二、第三のヌマタネズミルカ存在を解明して学術界に報告している。その成果から約500万年前の沼田の海岸にいた動物たちの姿が解明されようとしている。期待は大きい。



活字中毒の方への手紙

耳が大事

学芸員 田中嘉寛

イルカやクジラ類は耳の骨が非常に大事です。耳は神経や筋肉が複雑に関わっているため、沢山の突起やへこみが見られます(写真右下)。一つ一つの突起やへこみに名前がついていて、右下の写真で写っているだけでも17もの名称(解剖学用語)が付いています。このように複雑な骨なので耳の骨一つでもヌマタネズミルカであると言えます。

今回、「第二のヌマタネズミルカ」として世界デビューする耳の骨にはNFL2617という標本番号(整理番号)がついています。NFL2617は1986年8月に3人の教諭(瀬戸正氏、田中幸幸氏、加藤正敏氏)によって幌新太刀別川で発見されたヌマタネズミルカの中から見つかりました。アシカの骨の中に、ヌマタネズミルカの骨が一つだけ混じっていたのです。当時の海だった沼田をアシカとヌマタネズミルカ一緒に泳いでいたのかもしれない。

うわあ、細かい！

アシカと一緒に見つかったんだね

耳ってこんなに複雑な骨なんだね！
これなら沼山研究でそく！



第二のヌマタネズミルカの耳骨

冬季休館のお知らせ

沼田町化石体験館(幌新)は11月3日に閉館します。次の開館は2016年4月29日です！

休館中も楽しめる企画を考えていますのでお楽しみに！



10-11月 化石体験館の予定

休館日 10月13(火)19、26(月)
11月2(月)
10月12日(祝)は開館します

沼田町化石館だより 2015年10月 87号
発行/沼田町化石館 編集/田中嘉寛
〒078-2202 北海道南東部沼田町1条2丁目7-49
電話/Fax 0164-35-1034
メール/kaseki@guitar.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>